

3 年	単 元 名	「あらすじカード」を作ろう
(教科)国語		

### 1. 単元の目標

登場人物の行動や気持ち、起こった出来事などについて叙述を基に捉えることができる。

### 2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

・外国の物語を選んで読み、その本のあらすじをまとめて本の帯を作るために並行読書を進められるようにする。

### 3. 授業での活用場面

学習活動	学校図書館の関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブックトークで世界の物語を並行して読む。</li> <li>○自分が選んだ本のあらすじで本の帯を作る。</li> <li>○友達の作った本の帯を読み、感想を伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・並行読書を行う前にブックトークで本の紹介をしてもらう。</li> <li>・本選定が苦手な児童に対して「おすすめの本」のアドバイスをしてもらう。</li> <li>・出来上がった帯を付けた本を図書館前に展示してもらって、全校児童にみてもらう。</li> </ul>

### 4. 考察（成果や課題等）

導入時に本の帯の実物を見せ、学習課題「あらすじを書いた本の帯を作って、本を紹介しよう」を捉えさせ、外国の物語を紹介することで、主体的に学習を進めることができた。並行読書で教材文よりも長い文章の物語や短い文章の物語を選んだ場合があり、あらすじをまとめることが難しい児童もいた。したがってあらすじをまとめる際には、簡単なワークシートを利用したり、図書館からの支援を受けたりするとよかった。